

日本人学生と中国人学生における友人同士の 対人行動と文化的自己観との関連

長戸 裕香

学位取得年月：平成 22 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】日本人学生、中国人学生、対人行動、文化的自己観、異文化理解
【要旨】

本研究は、日本人学生と中国人学生を対象に、友人同士の対人行動と文化的自己観との関連を明らかにすることを目的とした。

その結果、日本人学生は「相手の好みや反応重視の贈答」を規定する要因として「自己意見の保持」と「他者への親和・順応」が影響を及ぼしていること、「無難性重視の贈答」、「好意的感情起因の奢り」を規定する要因としてそれぞれ「他者への親和・順応」が影響を及ぼしていることが示された。また、中国人学生は「相手の好みや反応重視の贈答」を規定する要因として「他者への親和・順応」が影響を及ぼしていること、「好意的感情起因の奢り」を規定する要因として「自己判断の確信」が影響を及ぼしていることが示された。

(ながと ひろか)

L2 日本語説明文の読解において、 見出しの存在が再生に与える影響 —見出しが与える情報機能の違いによる比較—

持田 ひろ子

学位取得年月：平成 22 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】見出し、トピック構成、トピック再生、
【要旨】

L2 説明文において、見出しの存在が記憶に及ぼす影響を検証した。日本語専攻の大学生 109 名を対象に、7つのトピックからなる説明文を用いて自由再生を行った。見出しの与える情報の違いにより、トピック内容群・トピック構成を番号で示す群・両者の結合群・統制群を設定した。結果は、全体再生量に差はなかったが、トピック再生数は、結合群が統制群より有意に多く、再生の構成もトピック構成に即す傾向を示した。見出しの存在はトピックの移行点を明示するので、トピック単位での情報処理を促したが、見出しがない場合は、情報の意味から推測して、トピックの異なる従属情報同士を結び付けていた。そのため、意味の結びつきの弱いトピックが脱落した。

(もちだ ひろこ)